

平成29年度宅地建物取引士資格試験の結果 について

試験部

はじめに

本稿においては、平成29年度に実施した宅地建物取引士資格試験（以下「宅建試験」という。）について、申込者、受験者及び合格者ごとに、最近10年間の年度別・ブロック別・男女別・年代別・職業別の内訳、職業別・男女別平均年齢について、それぞれデータに基づき説明しています。

続いて、登録講習修了者、18歳未満、65歳以上、世代別及び受付区分別の状況について、それぞれ記述しています。

なお、本稿の末尾に、平成29年度宅地建物取引士資格試験実施結果の概要・総括表・内訳の表及び問題と解答を付しています。

I 申込者

1 概要

平成29年度は、郵送受付を7月3日（月）から7月31日（月）まで、インターネット受付については7月3日（月）から7月15日（土）までの間に行いました。

申込者は、258,511人（一般受験者205,484人、登録講習修了者53,027人）で、28年度比では12,769人（5.2%）増加しました。これを一般受験者と登録講習修了者別にみると、一般受験者は9,126人、登録講習修了者は3,643人の増加となっています（表1-①）。

なお、受付区分ごとの申込者数は、郵送受

付199,833人（前年度比8,834人増）インターネット受付58,678人（同3,935人増）となっています。このうち、インターネット受付については、導入年度である17年度（利用率10.2%）以来、その利用率は28年度を除き毎年増加しており、29年度は22.7%となり、28年度の22.3%に比べ0.4ポイント増加しました。

表1-① 申込者年度別推移

年度	当該年度	(前年度)	前年度比		一般受験者	登録講習修了者
平成20年度	260,591	260,633	▲42	▲0.0%	217,750	42,841
平成21年度	241,944	260,591	▲18,647	▲7.2%	201,185	40,759
平成22年度	228,214	241,944	▲13,730	▲5.7%	190,476	37,738
平成23年度	231,596	228,214	3,382	1.5%	192,996	38,600
平成24年度	236,350	231,596	4,754	2.1%	196,206	40,144
平成25年度	234,586	236,350	▲1,764	▲0.7%	192,704	41,882
平成26年度	238,343	234,586	3,757	1.6%	193,508	44,835
平成27年度	243,199	238,343	4,856	2.0%	196,732	46,467
平成28年度	245,742	243,199	2,543	1.0%	196,358	49,384
平成29年度	258,511	245,742	12,769	5.2%	205,484	53,027

2 申込者の状況

(1) ブロック別

申込者について、ブロック別にみると、すべてのブロックで増加しました。

なお、ブロック別の構成比は、例年どおり一都三県が最も多く、全体の43.6%を占めています（表1-②）。

表1-② 申込者ブロック別内訳

地域	29年度	(28年度)	前年度比		構成比
北海道・東北	18,510	18,226	284	1.6%	7.2%
北関東・甲信越	15,052	14,606	446	3.1%	5.8%
一都三県	112,670	106,470	6,200	5.8%	43.6%
北陸・東海	27,703	26,641	1,062	4.0%	10.7%
近畿	43,185	40,228	2,957	7.4%	16.7%
中国・四国	14,861	14,531	330	2.3%	5.7%
九州・沖縄	26,530	25,040	1,490	6.0%	10.3%
【計】	258,511	245,742	12,769	5.2%	—

次に、都道府県別にみると、絶対数ではやはり都市部の申込者が多く、最も多い東京が5万人台、次いで神奈川、大阪が2万人台、続いて、埼玉、千葉、愛知、福岡、兵庫が1万人台となっており、兵庫は4年振りの1万人台となりました。

増減の状況をみると、増加したのは、東京3,119人、大阪1,591人、埼玉1,294人、神奈川1,155人、福岡933人、千葉632人、愛知630人、兵庫569人、以下32県の40都道府県となっており、一方、減少したのは、岩手66人、香川60人、福島30人、新潟17人、鹿児島4人の5県となっており、岐阜及び鳥取が前年度と同数となっています（15頁平成29年度宅地建物取引士資格試験実施結果【総括表】（以下「総括表」という。))。

(2) 男女別

男女別では、男性が179,029人で前年度比6,406人（3.7%）の増加、女性が79,482人で前年度比6,363人（8.7%）の増加となっています（表1-③）。

表1-③ 申込者男女別内訳

性別	29年度	(28年度)	前年度比		構成比
男	179,029	172,623	6,406	3.7%	69.3%
女	79,482	73,119	6,363	8.7%	30.7%
【計】	258,511	245,742	12,769	5.2%	—

(3) 年代別

年代別にみると、20代が87,162人（前年度比6,519人増）、30代が69,559人（同854人増）、40代が56,270人（同1,685人増）、50代が29,580人（前年度比2,459人増）、60歳以上が10,467人（同579人増）、20歳未満が5,473人（同673人増）とすべての年代で増加しました。

全体の申込者が、前年度から13,000人弱増える中、申込者数の最も多い20代が2年連続増加し、前年度6年ぶりに減少した50代が増加に転じたことが29年度の特徴となっています。

なお、全体に占める割合は、従前は全体の70%強を占めていた20代・30代が、20年度から70%を割り込むようになり、29年度は60.6%（20代33.7%、30代26.9%）と、10年連続して70%割れとなっています（表1-④）。

表1-④ 申込者年代別内訳

年代	29年度	(28年度)	前年度比		構成比
20歳未満	5,473	4,800	673	14.0%	2.1%
20代	87,162	80,643	6,519	8.1%	33.7%
30代	69,559	68,705	854	1.2%	26.9%
40代	56,270	54,585	1,685	3.1%	21.8%
50代	29,580	27,121	2,459	9.1%	11.4%
60歳以上	10,467	9,888	579	5.9%	4.0%
【計】	258,511	245,742	12,769	5.2%	—

(4) 職業別

職業別の申込者数は、最も多いのが不動産業の85,956人（前年度比5,420人増）、次いで他業種56,257人（同1,032人増）、建設業39,031人（同1,206人増）、学生26,654人（同27,06人増）、金融業25,273人（同1,743人増）、その他17,219人（同210人増）、主婦8,121人（同452人増）の順で続いています。

増減の状況をみると、不動産業が23年度から7年連続して増加し、また、構成比の大きい他業種、建設業及び金融業が増加に転じるとともに学生が2年連続して増加する等、す

すべての職種が増加したことが特徴となっています（表1-⑤）。

職業別の平均年齢は、最も高いのが主婦の42.8歳、次いでその他の41.9歳、以下、他業種40.6歳、建設業39.2歳、金融業37.2歳、不動産業34.8歳、学生21.1歳となっており、例年どおりの順となっています（表1-⑥）。

また、申込者全体の平均年齢は36.3歳（前年度36.3歳）で前年度と同様の結果となっています。一方、性別では、男性は36.8歳（同36.9歳）、女性は35.0歳（同35.0歳）で、女性は前年度、前々年度に続き過去最も高くなっています（表1-⑦）。

表1-⑤ 申込者職業別内訳

職業	29年度	(28年度)	前年度比		構成比
不動産業	85,956	80,536	5,420	6.7%	33.3%
金融業	25,273	23,530	1,743	7.4%	9.8%
建設業	39,031	37,825	1,206	3.2%	15.1%
他業種	56,257	55,225	1,032	1.9%	21.8%
学生	26,654	23,948	2,706	11.3%	10.3%
主婦	8,121	7,669	452	5.9%	3.1%
その他	17,219	17,009	210	1.2%	6.7%
【計】	258,511	245,742	12,769	5.2%	—

表1-⑥ 申込者職業別平均年齢

職業	29年度	(28年度)	前年度比
不動産業	34.8	34.8	0.0
金融業	37.2	37.2	0.0
建設業	39.2	39.2	0.0
他業種	40.6	40.4	0.2
学生	21.1	21.2	▲0.1
主婦	42.8	42.7	0.1
その他	41.9	41.7	0.2
【全業種平均】	36.3	36.3	0.0

表1-⑦ 申込者男女別平均年齢

性別	29年度
男	36.8
女	35.0
全体	36.3

Ⅱ 受験者

1 概要

平成29年度の宅建試験は、10月15日（日）、全国211会場、4,067試験室で実施しました。

申込者258,511人のうち、49,157人が欠席し、受験者は209,354人で28年度比10,891人（5.5%）の増となっています（表2-①）。

受験率は81.0%で、28年度の80.8%に比べ、29年度は0.2ポイント上昇し、4年連続して80%台となりました。

表2-① 受験者年度別推移

年度	当該年度(前年度)	前年度比		一般受験者	登録講習修了者	
平成20年度	209,415	209,684	▲269	▲0.1%	170,955	38,460
平成21年度	195,515	209,415	▲13,900	▲6.6%	158,909	36,606
平成22年度	186,542	195,515	▲8,973	▲4.6%	152,585	33,957
平成23年度	188,572	186,542	2,030	1.1%	153,906	34,666
平成24年度	191,169	188,572	2,597	1.4%	155,393	35,776
平成25年度	186,304	191,169	▲4,865	▲2.5%	149,239	37,065
平成26年度	192,029	186,304	5,725	3.1%	151,802	40,227
平成27年度	194,926	192,029	2,897	1.5%	153,210	41,716
平成28年度	198,463	194,926	3,537	1.8%	154,340	44,123
平成29年度	209,354	198,463	10,891	5.5%	161,867	47,487

2 受験者の状況

(1) ブロック別

ブロック別の受験率をみると、すべてのブロックで80%を上回ったが、その中でも、北海道・東北ブロック及び北陸・東海ブロックが82.1%と最も高くなっています（表2-②）。

表2-② 受験者ブロック別内訳

地域	29年度	(28年度)	前年度比		構成比	受験率
北海道・東北	15,196	14,746	450	3.1%	7.3%	82.1%
北関東・甲信越	12,161	11,906	255	2.1%	5.8%	80.8%
一都三県	90,478	85,218	5,260	6.2%	43.2%	80.3%
北陸・東海	22,749	21,843	906	4.1%	10.9%	82.1%
近畿	35,079	32,581	2,498	7.7%	16.8%	81.2%
中国・四国	12,027	11,678	349	3.0%	5.7%	80.9%
九州・沖縄	21,664	20,491	1,173	5.7%	10.3%	81.7%
【計】	209,354	198,463	10,891	5.5%	—	81.0%

なお、都道府県別の受験率をみると、上位は、高知83.9%、青森83.1%、北海道83.0%、石川83.0%、長崎82.8%、富山82.7%、下位は、佐賀79.0%、東京79.2%、滋賀79.3%、岡山79.6%、茨城80.0%、京都80.0%の順となっています（総括表）。

(2) 男女別

男性の受験者は143,971人で、前年度比では5,261人（3.8%）増加し、一方、女性の受験者は65,383人で、同5,630人（9.4%）の増加となっています。

受験率をみると、男性80.4%、女性82.3%と、例年どおり女性の方が高くなっています（表2-③）。

表2-③ 受験者男女別内訳

性別	29年度	(28年度)	前年度比		構成比	受験率
男	143,971	138,710	5,261	3.8%	68.8%	80.4%
女	65,383	59,753	5,630	9.4%	31.2%	82.3%
【計】	209,354	198,463	10,891	5.5%	—	81.0%

(3) 年代別

受験者を年代別にみると、20代・30代の割合が全体の60.8%（20代が71,590人・34.2%、30代が55,647人・26.6%）と、例年どおり大勢を占めてはいるものの、申込者と同様に、10年連続で70%を割り込んでいます。前年度比でみると、20代（8.2%増）と50代（9.6%増）が大きく増加する等、すべての年代で増加しています。

受験率については、40代が80.0%を下回った一方で、20歳未満が88.1%、60歳以上が83.3%と高い受験率となっています（表2-④）。

表2-④ 受験者年代別内訳

年代	29年度	(28年度)	前年度比		構成比	受験率
20歳未満	4,821	4,237	584	13.8%	2.3%	88.1%
20代	71,590	66,149	5,441	8.2%	34.2%	82.1%
30代	55,647	54,589	1,058	1.9%	26.6%	80.0%
40代	44,693	43,410	1,283	3.0%	21.3%	79.4%
50代	23,886	21,799	2,087	9.6%	11.4%	80.8%
60歳以上	8,717	8,279	438	5.3%	4.2%	83.3%
【計】	209,354	198,463	10,891	5.5%	—	81.0%

(4) 職業別

受験者を職業別にみると、最も多いのが不動産業の73,085人、次いで他業種43,846人、建設業30,131人、学生22,535人、金融業19,463人、その他13,616人、主婦6,678人の順となっています。

増減の状況をみると、申込者と同様、不動産業（前年度比4,615人、6.7%増）と学生（同2,265人、11.2%増）が増加する等、すべての職種で増加しています

職業別の構成比をみると、不動産業は34.9%と前年度比0.4ポイント増となり、学生は10.8%と同0.6ポイント増で2年連続して10%を超えました。

受験率は、不動産業（85.0%）、学生（84.5%）、主婦（82.2%）が80%台を確保し、他の4職種は80%を切っています（表2-⑤）。

受験者の職業別の平均年齢をみると、高い順に、主婦42.9歳、その他42.2歳、他業種40.9歳、建設業39.1歳、金融業37.5歳、不動産業34.6歳、学生21.0歳となっており、主婦が高いのは申込者と同様に例年と変わりはありません（表2-⑥）。

また、受験者全体の平均年齢は36.2歳（前年度36.3歳）で、前年度より0.1歳低くなっています。一方、性別では、男性は36.7歳（同36.9歳）と前年度より0.2歳低くなっており、女性は34.8歳（同34.8歳）と前年度と同様となっています（表2-⑦）。

表2-⑤ 受験者職業別内訳

職業	29年度	(28年度)	前年度比	構成比	受験率
不動産業	73,085	68,470	4,615 6.7%	34.9%	85.0%
金融業	19,463	18,057	1,406 7.8%	9.3%	77.0%
建設業	30,131	29,024	1,107 3.8%	14.4%	77.2%
他業種	43,846	42,916	930 2.2%	20.9%	77.9%
学生	22,535	20,270	2,265 11.2%	10.8%	84.5%
主婦	6,678	6,270	408 6.5%	3.2%	82.2%
その他	13,616	13,456	160 1.2%	6.5%	79.1%
【計】	209,354	198,463	10,891 5.5%	—	81.0%

表2-⑥ 受験者職業別平均年齢

職業	29年度	(28年度)	前年度比
不動産業	34.6	34.7	▲0.1
金融業	37.5	37.4	0.1
建設業	39.1	39.2	▲0.1
他業種	40.9	40.7	0.2
学生	21.0	21.1	▲0.1
主婦	42.9	42.8	0.1
その他	42.2	42.0	0.2
【全業種平均】	36.2	36.3	▲0.1

表2-⑦ 受験者男女別平均年齢

性別	29年度
男	36.7
女	34.8
全体	36.2

Ⅲ 合格者

1 概要

平成29年度の合格発表は、11月29（水）に行いました。合格発表に当たっては、都道府県ごとの掲示及び機構ホームページへの掲載に加えて、17年度から開始した携帯電話を利用して合否確認ができるシステムを引き続き設定しました。

29年度の合格者総数は32,644人（一般受験者23,180人、登録講習修了者9,464人）で、前年度に比べて2,055人（6.7%）の増となっています（表3-①）。

合格者数は、申込者数の増加（5.2%）及び受験率の上昇（0.2ポイント）とともに合格率が15.6%と前年度の15.4%から0.2ポイント上昇し、増加しました。なお、今年度の試験においては、全問正解者は出ていません。

合格者数は、申込者数の増加（5.2%）及び受験率の上昇（0.2ポイント）とともに合格率が15.6%と前年度の15.4%から0.2ポイント上昇し、増加しました。なお、今年度の試験においては、全問正解者は出ていません。

表3-① 合格者年度別推移

年度	当該年度	(前年度)	前年度比	一般受験者	登録講習修了者
平成20年度	33,946	36,203	▲2,257 ▲6.2%	25,256	8,690
平成21年度	34,918	33,946	972 2.9%	25,192	9,726
平成22年度	28,311	34,918	▲6,607 ▲18.9%	21,614	6,697
平成23年度	30,391	28,311	2,080 7.3%	23,717	6,674
平成24年度	32,000	30,391	1,609 5.3%	23,900	8,100
平成25年度	28,470	32,000	▲3,530 ▲11.0%	20,674	7,796
平成26年度	33,670	28,470	5,200 18.3%	23,660	10,010
平成27年度	30,028	33,670	▲3,642 ▲10.8%	21,590	8,438
平成28年度	30,589	30,028	561 1.9%	21,768	8,821
平成29年度	32,644	30,589	2,055 6.7%	23,180	9,464

2 合格者の状況

(1) ブロック別

ブロック別の合格者をみると、例年どおり一都三県が15,509人（合格率17.1%）と、人数・合格率共に最も多く、この状況は例年と変わりはありません（表3-②）。

表3-② 合格者ブロック別内訳

地域	29年度	(28年度)	前年度比	構成比	合格率
北海道・東北	2,036	2,099	▲63 ▲3.0%	6.2%	13.4%
北関東・甲信越	1,630	1,627	3 0.2%	5.0%	13.4%
一都三県	15,509	14,062	1,447 10.3%	47.5%	17.1%
北陸・東海	3,574	3,376	198 5.9%	10.9%	15.7%
近畿	5,445	5,036	409 8.1%	16.7%	15.5%
中国・四国	1,694	1,705	▲11 ▲0.6%	5.2%	14.1%
九州・沖縄	2,756	2,684	72 2.7%	8.4%	12.7%
【計】	32,644	30,589	2,055 6.7%	—	15.6%

なお、都道府県別の合格率をみると、高いのは、東京18.4%、愛知17.1%、兵庫17.0%、神奈川16.3%、京都16.0%、千葉15.9%、低いのは、佐賀10.6%、宮崎11.0%、鹿児島11.3%、鳥取11.4%、沖縄11.6%、福島11.9%となっています（総括表）。

(2) 男女別

男女別の合格者をみると、男性が21,677人で前年度比1,227人（6.0%）増、女性が10,967人で同828人（8.2%）増となっています。

一方、男性の合格率は15.1%、女性の合格率は16.8%と、28年度に比べ、男性は0.4ポイント上昇し、女性は0.2ポイント低下しました。女性の合格率が男性を上回るのは例年どおりですが、その差は、28年度の2.3ポイントの差から29年度は1.7ポイントの差となっています。

また、合格者の構成比は男性66.4%、女性33.6%となり、女性が30%を超えるのは5年連続で、過去最高の高さとなっています（表3-③）。

表3-③ 合格者男女別内訳

性別	29年度	(28年度)	前年度比	構成比	合格率
男	21,677	20,450	1,227	6.0%	66.4%
女	10,967	10,139	828	8.2%	33.6%
【計】	32,644	30,589	2,055	6.7%	—

(3) 年代別

合格者を年代別にみると、合格者数は20代12,010人（構成比36.8%）、30代8,994人（同27.6%）、40代6,637人（同20.3%）の順となっています。5年連続して20代の合格者数が最も多い結果となっています。

また、年代別の合格率をみると、20代（16.8%）、30代（16.2%）が高く、他の世代は15%未満となっています（表3-④）。

表3-④ 合格者年代別内訳

年代	29年度	(28年度)	前年度比	構成比	合格率
20歳未満	623	602	21	3.5%	1.9%
20代	12,010	10,785	1,225	11.4%	36.8%
30代	8,994	8,989	5	0.1%	27.6%
40代	6,637	6,391	246	3.8%	20.3%
50代	3,327	2,842	485	17.1%	10.2%
60歳以上	1,053	980	73	7.4%	3.2%
【計】	32,644	30,589	2,055	6.7%	—

(4) 職業別

職業別の合格者数は、最も多いのが不動産

業の11,235人（構成比34.4%）、次いで他業種7,532人（同23.1%）、学生3,747人（同11.5%）、金融業3,249人（同10.0%）、建設業3,148人（同9.6%）、その他2,445人（同7.5%）、主婦1,288人（同3.9%）の順となっています。

増減の状況を見ると、28年度は、建設業とその他で前年度を下回っていましたが、29年度は、その他（同184人、7.0%減）と主婦（前年度比55人、4.1%減）が減少し、他の職種はいずれも増加しています。また、金融業は、合格者の増加率が17.5%増と最も高くなっています。

構成比を見ると、不動産業、学生、金融業が増加し、他業種、建設業、その他、主婦は減少しました。金融業の構成率が10.0%となるのは平成22年度以来7年振りで、建設業を抜いて4番目となりました。

職業別の合格率は、主婦の19.3%が最も高く、次いでその他の18.0%、他業種17.2%、金融業16.7%、学生16.6%、不動産業15.4%、建設業10.4%の順となっています。

29年度は、主婦の合格率が7年連続して最も高かったことと、金融業が24年度以来5年振りで学生を抜いて4番目の合格率になったことが特徴となっています（表3-⑤）。

表3-⑤ 合格者職業別内訳

職業	29年度	(28年度)	前年度比	構成比	合格率
不動産業	11,235	10,280	955	9.3%	34.4%
金融業	3,249	2,764	485	17.5%	10.0%
建設業	3,148	3,066	82	2.7%	9.6%
他業種	7,532	7,122	410	5.8%	23.1%
学生	3,747	3,385	362	10.7%	11.5%
主婦	1,288	1,343	▲55	▲4.1%	3.9%
その他	2,445	2,629	▲184	▲7.0%	7.5%
【計】	32,644	30,589	2,055	6.7%	—

合格者の職業別の平均年齢は、主婦が40.8歳と最も高く、次いでその他40.6歳、他業種40.2歳、建設業38.2歳、金融業36.5歳、不動

産業33.7歳、学生21.2歳の順で、主婦、その他、他業種が例年どおり高くなっています（表3-⑥）。

合格者の平均年齢は35.3歳と、申込者の36.3歳及び受験者の36.2歳より低くなっており、この傾向も例年と違いありません。

なお、男女別の平均年齢は、男性35.8歳、女性34.2歳となっており、男性は前年度より0.1歳上昇し、女性は前年度より0.2歳低下しています（表3-⑦）。

表3-⑥ 合格者職業別平均年齢

職業	29年度	(28年度)	前年度比
不動産業	33.7	33.8	▲0.1
金融業	36.5	36.4	0.1
建設業	38.2	38.4	▲0.2
他業種	40.2	39.6	0.6
学生	21.2	21.3	▲0.1
主婦	40.8	40.5	0.3
その他	40.6	40.0	0.6
【全業種平均】	35.3	35.3	0.0

表3-⑦ 合格者男女別平均年齢

性別	29年度
男	35.8
女	34.2
全体	35.3

Ⅳ 登録講習修了者の状況

平成29年度の登録講習修了者の状況をみると、申込者53,027人（前年度49,384人）、受験者47,487人（同44,123人）となっています。申込者・受験者は、指定講習制度から登録講習制度へ移行した17年度から20年度までは増加傾向にあったものの、21年度・22年度は連続して減少し、23年度からは再び増加に転じ、今年度は過去最も多い人数となっています。

また、申込者が全体に占める割合は、28年度の20.1%から29年度は20.5%と0.4ポイント

増加し、過去最も高くなっています。

登録講習修了者の受験率をみると、89.6%（前年度89.3%）と28年度から0.3ポイント増加しています。

一方、合格者については、9,464人（全体の合格者32,644人、構成比29.0%）と、28年度の8,821人（全体の合格者30,589人、構成比28.8%）から643人の増加となっています。

また、合格率は28度の20.0%に比べ、29年度は19.9%と0.1ポイント減少しています（表4-①）。

表4-① 登録講習修了者の受験状況

性別	申込者	(28年度)	受験者	受験率	合格者	合格率
男	35,586	33,894	31,739	89.2%	5,926	18.7%
女	17,441	15,490	15,748	90.3%	3,538	22.5%
【計】	53,027	49,384	47,487	89.6%	9,464	19.9%
全体に占める割合	20.5%	20.1%	22.7%	—	29.0%	—

V 18歳未満、65歳以上及び世代別等の状況

1 18歳未満

申込者307人（前年度319人）、受験者264人（同292人）、合格者14人（同19人）、合格率5.3%（同6.5%）となっています。（表4-②）。

男性の最年少の合格者は、男性は13歳（福岡）で、女性は15歳（愛知）となっています。

なお、これまでの最年少合格記録は、男性は12歳（26年度・愛知）で、女性は14歳（12年度・神奈川）となっています（表4-③）。

表4-② 18歳未満の受験状況

区分	申込者	(28年度)	受験者	受験率	合格者	合格率
18歳未満	307	319	264	86.0%	14	5.3%

表4-③ 最年少合格者

性別	年齢 (都道府県)	従来の記録 (年度・都道府県)
男	13歳 (福 岡)	12歳 (26・愛 知)
女	15歳 (愛 知)	14歳 (12・神奈川)

2 65歳以上

申込者4,490人(前年度4,108人)、受験者3,823人(同3,500人)、合格者397人(同326人)となっています。

合格率は10.4%(同9.3%)と、1.1ポイント上昇しています(表4-④)。

男性の最年長の合格者は、89歳(茨城)で、女性は72歳(東京)となっています。

なお、これまでの最年長合格記録は、男性は90歳(17年度・東京)で、女性は80歳(5年度・東京)となっています(表4-⑤)。

表4-④ 65歳以上の受験状況

区分	申込者	(28年度)	受験者	受験率	合格者	合格率
65歳以上	4,490	4,108	3,823	85.1%	397	10.4%

表4-⑤ 最年長合格者

性別	年齢 (都道府県)	従来の記録 (年度・都道府県)
男	89歳 (茨 城)	90歳 (17・東京)
女	72歳 (東 京)	80歳 (5・東京)

3 世代別

申込者、受験者及び合格者とも例年どおり、昭和生まれが大多数を占めている状況に変わりはありませんが、初めて昭和生まれの申込者、受験者、合格者の構成比が70%を割り込んでいます。大正生まれは、前年度に続いて申込者が0人となっている一方、平成生まれの合格者は、一貫して増加しており、28年度の9,148人から11,334人に増えて、合格者全体の34.7%を占めています(表4-⑥)。

表4-⑥ 世代別の受験状況

区分	申込者	(28年度)	受験者	受験率	合格者	合格率
大正 生まれ	0	0	0	—	0	—
	0	0	0	—	0	—
	0	0	0	—	0	—
昭和 生まれ	124,408	127,066	99,163	79.7%	14,348	14.5%
	50,914	49,904	41,372	81.3%	6,962	16.8%
	175,322	176,970	140,535	80.2%	21,310	15.2%
平成 生まれ	54,621	45,557	44,808	82.0%	7,329	16.4%
	28,568	23,215	24,011	84.0%	4,005	16.7%
	83,189	68,772	68,819	82.7%	11,334	16.5%
【計】	179,029	172,623	143,971	80.4%	21,677	15.1%
	79,482	73,119	65,383	82.3%	10,967	16.8%
	258,511	245,742	209,354	81.0%	32,644	15.6%

*注:各世代の上段は男性、下段は女性の数値である。

4 受付区分別

インターネット受付の申込者は、17年度の導入以来、毎年郵送受付の申込者より5ポイント前後(29年度は6.8ポイント)合格率が高くなっています(表4-⑦)。

表4-⑦ 郵送・インターネット申込の受験状況

区分	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
郵送	199,833	160,636	80.4%	22,534	14.0%
インター ネット	58,678	48,718	83.0%	10,110	20.8%

Ⅵ 正解番号及び合否判定基準

1 正解番号

正解番号は、都道府県ごとに合格発表日以降、原則として3日間、合格者受験番号・合否の判定基準と共に掲示しています。

また、機構のホームページ (<http://www.retio.or.jp>) には、合格者受験番号・正解番号・合否の判定基準を合格発表日以降約6か月間(次年度の試験実施計画の公告の前日まで)掲載しています。

2 合否判定基準

平成29年度の合否判定基準は、50問中「35問以上」としています。ただし、登録講習修了者（宅地建物取引業法第16条第3項の規定により試験の一部を免除された者）については、45問中「30問以上」としています。

おわりに

インターネット受付利用率については、23年度に20.3%と当初の目標としていた20%を達成し、以後、28年度を除き一貫して向上してきたところですが、今年度は22.7%と、前年度に比べ0.4ポイント増加に転じました。

今後とも適正かつ確実な試験実施と、良好な受験環境の整備・確保につき、関係各位の御協力をお願いする次第です。

平成29年度宅建試験実施結果概要

1 受付総数

29年度	28年度	増(▲)減	増減率(%)	備考
258,511	245,742	12,769	5.2	28年度→2,543人、1.0%増

2 各区分別

(単位：人、歳)

区 分	申込者	受験者	合格者	合格率(%)	備考	
全 体	258,511	209,354	32,644	15.6		
男 性	179,029	143,971	21,677	15.1		
女 性	79,482	65,383	10,967	16.8		
一般受験者	205,484	161,867	23,180	14.3		
男 性	143,443	112,232	15,751	14.0		
女 性	62,041	49,635	7,429	15.0		
登録講習修了者	53,027	47,487	9,464	19.9		
男 性	35,586	31,739	5,926	18.7		
女 性	17,441	15,748	3,538	22.5		
平均年齢	36.3	36.2	35.3	—		
男 性	36.8	36.7	35.8	—		
女 性	35.0	34.8	34.2	—		
年 代 別	20歳未満	5,473	4,821	623	12.9	※最年少合格者：13歳・男
	20代	87,162	71,590	12,010	16.8	
	30代	69,559	55,647	8,994	16.2	
	40代	56,270	44,693	6,637	14.9	
	50代	29,580	23,886	3,327	13.9	
	60歳以上	10,467	8,717	1,053	12.1	※最年長合格者：89歳・男
[計]	258,511	209,354	32,644	15.6		
職 業 別	不動産業	85,956	73,085	11,235	15.4	
	金融業	25,273	19,463	3,249	16.7	
	建設業	39,031	30,131	3,148	10.4	
	他業種	56,257	43,846	7,532	17.2	
	学生	26,654	22,535	3,747	16.6	
	主婦	8,121	6,678	1,288	19.3	
	その他	17,219	13,616	2,445	18.0	
[計]	258,511	209,354	32,644	15.6		
世 代 別	大正生まれ	0	0	0	—	
	昭和生まれ	175,322	140,535	21,310	15.2	
	平成生まれ	83,189	68,819	11,334	16.5	
	[計]	258,511	209,354	32,644	15.6	
受 付 別	郵送受付	199,833	160,636	22,534	14.0	
	ネット受付	58,678	48,718	10,110	20.8	※インターネット利用率：22.7%
	[計]	258,511	209,354	32,644	15.6	
参 考	18歳未満	307	264	14	5.3	
	65歳以上	4,490	3,823	397	10.4	

平成29年度宅地建物取引士資格試験実施結果【総括表】

		申込者		前年度比		受験者	受験率	合格者	合格率
		29年度	28年度	増(▲)減	増(▲)減率				
北海道・東北	北海道	6,878	6,616	262	4.0	5,710	83.0	816	14.3
	青森	1,054	985	69	7.0	876	83.1	114	13.0
	岩手	1,376	1,442	▲66	▲4.6	1,130	82.1	137	12.1
	宮城	4,858	4,823	35	0.7	3,920	80.7	518	13.2
	秋田	766	760	6	0.8	621	81.1	92	14.8
	山形	1,010	1,002	8	0.8	820	81.2	107	13.0
	福島	2,568	2,598	▲30	▲1.2	2,119	82.5	252	11.9
北関東・甲信越	茨城	3,741	3,562	179	5.0	2,991	80.0	423	14.1
	栃木	2,646	2,556	90	3.5	2,129	80.5	298	14.0
	群馬	2,572	2,540	32	1.3	2,087	81.1	261	12.5
	新潟	2,436	2,453	▲17	▲0.7	1,973	81.0	267	13.5
	山梨	1,105	1,011	94	9.3	897	81.2	118	13.2
	長野	2,552	2,484	68	2.7	2,084	81.7	263	12.6
一都三県	埼玉	18,871	17,577	1,294	7.4	15,276	80.9	2,392	15.7
	千葉	14,727	14,095	632	4.5	11,996	81.5	1,913	15.9
	東京都	54,727	51,608	3,119	6.0	43,335	79.2	7,962	18.4
	神奈川	24,345	23,190	1,155	5.0	19,871	81.6	3,242	16.3
北陸・東海	富山	1,206	1,063	143	13.5	997	82.7	138	13.8
	石川	1,628	1,480	148	10.0	1,351	83.0	179	13.2
	福井	734	685	49	7.2	593	80.8	91	15.3
	岐阜	2,484	2,484	0	0.0	2,022	81.4	304	15.0
	静岡	5,638	5,593	45	0.8	4,603	81.6	659	14.3
	愛知	13,868	13,238	630	4.8	11,448	82.5	1,955	17.1
近畿	三重	2,145	2,098	47	2.2	1,735	80.9	248	14.3
	滋賀	2,186	2,081	105	5.0	1,733	79.3	227	13.1
	京都	5,371	4,963	408	8.2	4,299	80.0	689	16.0
	大阪	21,623	20,032	1,591	7.9	17,592	81.4	2,668	15.2
	兵庫	10,532	9,963	569	5.7	8,629	81.9	1,464	17.0
	奈良	2,426	2,242	184	8.2	1,963	80.9	276	14.1
中国・四国	和歌山	1,047	947	100	10.6	863	82.4	121	14.0
	鳥取	457	457	0	0.0	376	82.3	43	11.4
	島根	666	660	6	0.9	546	82.0	78	14.3
	岡山	2,766	2,715	51	1.9	2,203	79.6	295	13.4
	広島	4,642	4,501	141	3.1	3,769	81.2	553	14.7
	山口	1,637	1,576	61	3.9	1,333	81.4	178	13.4
	徳島	862	859	3	0.3	695	80.6	102	14.7
	香川	1,373	1,433	▲60	▲4.2	1,099	80.0	171	15.6
	愛媛	1,788	1,709	79	4.6	1,444	80.8	194	13.4
	高知	670	621	49	7.9	562	83.9	80	14.2
九州・沖縄	福岡	12,306	11,373	933	8.2	10,065	81.8	1,357	13.5
	佐賀	994	938	56	6.0	785	79.0	83	10.6
	長崎	1,669	1,591	78	4.9	1,382	82.8	173	12.5
	熊本	2,724	2,410	314	13.0	2,210	81.1	282	12.8
	大分	1,515	1,474	41	2.8	1,239	81.8	181	14.6
	宮崎	1,352	1,326	26	2.0	1,112	82.2	122	11.0
	鹿児島	2,290	2,294	▲4	▲0.2	1,862	81.3	210	11.3
	沖縄	3,680	3,634	46	1.3	3,009	81.8	348	11.6
【合計】		258,511	245,742	12,769	5.2	209,354	81.0	32,644	15.6

平成29年度宅地建物取引士資格試験実施結果【内訳】

区分		一般受験者					登録講習修了者				
		申込者	受験者	受験率	合格者	合格率	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
北海道・東北	北海道	5,489	4,454	81.1	596	13.4	1,389	1,256	90.4	220	17.5
	青森	930	758	81.5	98	12.9	124	118	95.2	16	13.6
	岩手	1,180	945	80.1	119	12.6	196	185	94.4	18	9.7
	宮城	3,864	3,020	78.2	353	11.7	994	900	90.5	165	18.3
	秋田	645	507	78.6	72	14.2	121	114	94.2	20	17.5
	山形	849	675	79.5	80	11.9	161	145	90.1	27	18.6
北関東・甲信越	福島	2,107	1,695	80.4	190	11.2	461	424	92.0	62	14.6
	茨城	3,022	2,336	77.3	304	13.0	719	655	91.1	119	18.2
	栃木	2,141	1,676	78.3	219	13.1	505	453	89.7	79	17.4
	群馬	2,134	1,696	79.5	194	11.4	438	391	89.3	67	17.1
	新潟	2,062	1,618	78.5	203	12.5	374	355	94.9	64	18.0
	山梨	992	793	79.9	101	12.7	113	104	92.0	17	16.3
一都三県	長野	2,173	1,732	79.7	196	11.3	379	352	92.9	67	19.0
	埼玉	14,612	11,555	79.1	1,649	14.3	4,259	3,721	87.4	743	20.0
	千葉	11,569	9,186	79.4	1,355	14.8	3,158	2,810	89.0	558	19.9
	東京都	41,180	31,369	76.2	5,220	16.6	13,547	11,966	88.3	2,742	22.9
北陸・東海	神奈川	18,576	14,737	79.3	2,216	15.0	5,769	5,134	89.0	1,026	20.0
	富山	1,007	812	80.6	113	13.9	199	185	93.0	25	13.5
	石川	1,334	1,079	80.9	134	12.4	294	272	92.5	45	16.5
	福井	638	503	78.8	67	13.3	96	90	93.8	24	26.7
	岐阜	2,089	1,670	79.9	254	15.2	395	352	89.1	50	14.2
	静岡	4,731	3,794	80.2	502	13.2	907	809	89.2	157	19.4
近畿	愛知	11,122	8,960	80.6	1,475	16.5	2,746	2,488	90.6	480	19.3
	三重	1,820	1,439	79.1	190	13.2	325	296	91.1	58	19.6
	滋賀	1,785	1,374	77.0	157	11.4	401	359	89.5	70	19.5
	京都	4,437	3,464	78.1	507	14.6	934	835	89.4	182	21.8
	大阪	17,090	13,511	79.1	1,875	13.9	4,533	4,081	90.0	793	19.4
	兵庫	8,728	7,007	80.3	1,084	15.5	1,804	1,622	89.9	380	23.4
中国・四国	奈良	2,078	1,652	79.5	220	13.3	348	311	89.4	56	18.0
	和歌山	902	731	81.0	96	13.1	145	132	91.0	25	18.9
	鳥取	399	320	80.2	38	11.9	58	56	96.6	5	8.9
	島根	564	451	80.0	61	13.5	102	95	93.1	17	17.9
	岡山	2,307	1,789	77.5	227	12.7	459	414	90.2	68	16.4
	広島	3,819	3,023	79.2	422	14.0	823	746	90.6	131	17.6
	山口	1,326	1,043	78.7	135	12.9	311	290	93.2	43	14.8
	徳島	730	570	78.1	77	13.5	132	125	94.7	25	20.0
	香川	1,163	907	78.0	129	14.2	210	192	91.4	42	21.9
九州・沖縄	愛媛	1,529	1,211	79.2	160	13.2	259	233	90.0	34	14.6
	高知	570	469	82.3	66	14.1	100	93	93.0	14	15.1
	福岡	9,741	7,738	79.4	966	12.5	2,565	2,327	90.7	391	16.8
	佐賀	840	639	76.1	68	10.6	154	146	94.8	15	10.3
	長崎	1,443	1,169	81.0	124	10.6	226	213	94.2	49	23.0
	熊本	2,265	1,792	79.1	201	11.2	459	418	91.1	81	19.4
	大分	1,258	1,002	79.7	124	12.4	257	237	92.2	57	24.1
	宮崎	1,110	896	80.7	98	10.9	242	216	89.3	24	11.1
	鹿児島	1,994	1,591	79.8	179	11.3	296	271	91.6	31	11.4
沖縄	3,140	2,509	79.9	266	10.6	540	500	92.6	82	16.4	
【合計】		205,484	161,867	78.8	23,180	14.3	53,027	47,487	89.6	9,464	19.9